

平成24年度  
事業報告書



社会福祉法人 広寿会  
高齢者総合福祉施設 ひろた

平成 24 年度  
社会福祉法人 広寿会 事業報告書目次  
高齢者総合福祉施設 ひろた

1 . 法 人 部 門.....	4
【運営理念】 .....	4
【基本方針】 .....	4
ひろた職員心得 .....	4
【平成 24 年度目標の評価】 .....	5
〔 1 〕 法人の概要 .....	5
〔 2 〕 役員の状況 .....	5
〔 3 〕 平成 24 年度理事会開催状況 .....	6
〔 4 〕 平成 24 年度評議員会開催状況 .....	6
〔 5 〕 平成 24 年度理事・評議員・監事研修等実施状況 .....	7
〔 6 〕 職員の状況 .....	7
〔 7 〕 運営組織図 .....	8
2 . 施 設 部 門.....	9
【平成 24 年度目標の評価】 .....	9
〔 1 〕 施設部門の状況 .....	9
( 1 ) 施設の種類 .....	9
( 2 ) 運営状況（利用状況） .....	9
( 3 ) 入居者の状況 .....	10
〔 2 〕 事業内容 .....	11
( 1 ) ユニットの状況 .....	11
( 2 ) 行事報告 .....	14
( 3 ) 逆デイサービス：高岡さんち .....	16
〔 3 〕 委員会 .....	16
( 1 ) 事故防止委員会 .....	16
( 2 ) 身体拘束廃止委員会 .....	18
( 3 ) 食事・口腔ケア委員会 .....	19
( 4 ) 住環境委員会 .....	19
( 5 ) 排泄委員会 .....	20
( 6 ) 入浴委員会 .....	21
( 7 ) 褥瘡予防委員会 .....	21
( 8 ) 感染予防対策委員会 .....	21
( 9 ) 医療安全管理委員会 .....	22

( 1 0 ) 広報委員会.....	22
( 1 1 ) 防災委員会.....	23
( 1 2 ) 苦情検討委員会.....	25
( 1 3 ) ケアプラン委員会.....	25
( 1 4 ) 利用者相談会「いどばた会議」.....	26
( 1 5 ) 家族の会.....	26
3 . 在 宅 部 門.....	27
〔 1 〕 指定居宅介護支援事業所ひろた.....	27
【平成 24 年度目標の評価】.....	27
( 1 ) 運営状況.....	27
( 2 ) 事業内容.....	27
( 3 ) 地域連絡会.....	29
〔 2 〕 たちばなの家じゃんけんぼん.....	29
【平成 24 年度目標の評価】.....	29
( 1 ) 運営状況.....	29
( 2 ) 事業内容.....	30
( 3 ) 事故報告.....	32
( 4 ) 避難訓練.....	33
( 5 ) 在宅ケア委員会.....	33
( 6 ) 介護サービス情報公表調査.....	34
〔 3 〕 砥部町デイサービス（委託）.....	34
【平成 24 年度目標の評価】.....	34
( 1 ) 運営状況.....	34
( 2 ) 事業内容.....	35
( 3 ) 事故報告.....	38
( 4 ) 苦情受付.....	39
( 5 ) 在宅ケア委員会.....	39
( 6 ) 砥部町介護予防事業（委託）.....	39
〔 4 〕 支援ハウス（委託）.....	40
( 1 ) 運営状況.....	40
( 2 ) 行事報告.....	40
4 . 会 議 等.....	41
〔 1 〕 管理者会議.....	41
〔 2 〕 運営会議.....	41
〔 3 〕 リーダー会.....	42
〔 4 〕 サブリーダー会.....	42
〔 5 〕 ユニット会議.....	43
〔 6 〕 職員会.....	44
〔 7 〕 給食委員会.....	44

5 . 研 修 等 .....	49
〔 1 〕 施設実習受入状況.....	49
〔 2 〕 事例研究発表等 .....	49
〔 3 〕 施設内研修 .....	50

# 1 . 法 人 部 門

---

## 【運営理念】

「ノーマライゼーションの理念を大切に」

- 1 自立支援 できるだけ自立した生活の支援
- 2 自己決定 できるかぎり本人による選択・決定
- 3 権利擁護 いつの場合も個人の権利を守る

## 【基本方針】

「一人ひとりの暮らしを支えるケア」を目指して

- 1 利用者一人ひとりをみつめ、最期まで尊厳ある生活の実現
- 2 利用者の人権、プライバシーの保護
- 3 在宅高齢者の生活支援、QOLの向上
- 4 保健・医療・福祉の連携を強め、地域の福祉ニーズに応える
- 5 研修及び自己啓発等により職員の資質向上を図る

ひろた職員心得

今日も一日

1 ・さわやかな挨拶を交わします

2 ・明るい笑顔で接します

3 ・想いやりのある言葉で接します

4 ・愛と真心を持って介護します

これらを胸に

働ける幸せに感謝します

## 【平成 24 年度目標の評価】

### (1) 理念に基づいた個別ケア

基礎介護力向上研修や管理者研修、セルフマネジメント研修を実施。研修や総合記録シートの活用の成果が徐々にあらわれてきていると感じる。施設部門では、大幅な入院日数の減少、薬剤に頼らない排泄ケアの効果等、また在宅部門では、自立した生活が維持できるよう残存機能の活用の工夫等、まだまだ不十分ではあるが成果が表れてきている。

### (2) 住み慣れた地域づくり

健康教室参加、逆デイサービスの実施を通して、地域との繋がりをもっている。  
急激な人口減少、超高齢地域の中での広寿会の役割を今後も模索していく。

### (3) 明るく働きやすい職場づくり

全職員がリフレッシュ休暇を 5 日連続でとることは難しかった。  
笑顔であいさつをスローガンに職場作りを目指している。年度内の離職者は 2 名であった。

### (4) 安定した財政的経営

各事業所ともに稼働率はアップしているが、開設 12 年経ち修繕、備品の買い替え等も多くなっている。今後も丁寧な経営を心掛けていく。

## 〔 1 〕 法人の概要

1. 法人名            社会福祉法人 広寿会
2. 所在地           愛媛県伊予郡砥部町総津 405 番地
3. 法人の事業       第 1 種社会福祉事業  
                         特別養護老人ホームの経営  
  
                         第 2 種社会福祉事業  
                         (イ) 老人短期入所事業の経営  
                         (ロ) 老人デイサービスセンターの経営  
                         (ハ) 生活支援ハウスの経営  
  
                         公益事業  
                         居宅介護支援事業



## 〔 2 〕 役員の状況

### 1. 構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

理 事	定数	6 名(現員 6 名)
監 事	定数	2 名(現員 2 名)
評 議 員	定数	13 名(現員 13 名)

## 〔 3 〕平成 24 年度理事会開催状況

開催年月日	議 題		出席者数 / 定員	
			理事	監事
平成 24 年 05 月 27 日	第 1 号議案	平成 23 年度事業報告の承認について	5/6	2/2
	第 2 号議案	平成 23 年度決算報告の承認について		
	第 3 号議案	施設長人事案件について		
平成 24 年 06 月 23 日	第 4 号議案	理事の選任等について	5/6	2/2
平成 24 年 09 月 25 日	第 5 号議案	平成 24 年度社会福祉法人及び老人福祉施設等指導 監査の実施結果等について	5/6	1/2
平成 24 年 11 月 23 日	第 6 号議案	平成 24 年度第一次補正予算(案)の承認について	5/6	2/2
	第 7 号議案	第三者委員の選考について		
	第 8 号議案	規程の一部改正について		
	第 9 号議案	理事の担当業務について		
平成 25 年 03 月 24 日	第 10 号議案	平成 24 年度第二次補正予算(案)の承認について	6/6	2/2
	第 11 号議案	平成 25 年度事業計画(案)の承認について		
	第 12 号議案	平成 25 年度予算(案)の承認について		
	第 13 号議案	規程(規則)の一部改正について		

## 〔 4 〕平成 24 年度評議員会開催状況

開催年月日	議 題		出席者数 / 定員	
			評議員	監事
平成 24 年 05 月 27 日	第 1 号議案	平成 23 年度事業報告の承認について	11/13	2/2
	第 2 号議案	平成 23 年度決算報告の承認について		
	第 3 号議案	施設長人事案件について		
平成 24 年 06 月 23 日	第 4 号議案	理事の選任等について	12/13	2/2
平成 24 年 11 月 23 日	第 5 号議案	平成 24 年度社会福祉法人及び老人福祉施設等指導 監査の実施結果等について	10/13	2/2
	第 6 号議案	平成 24 年度第一次補正予算(案)の承認について		
	第 7 号議案	第三者委員の選考について		
	第 8 号議案	規程の一部改正について		
平成 25 年 03 月 24 日	第 9 号議案	平成 24 年度第二次補正予算(案)の承認について	13/13	2/2
	第 10 号議案	平成 25 年度事業計画(案)の承認について		
	第 11 号議案	平成 25 年度予算(案)の承認について		
	第 12 号議案	規程(規則)の一部改正について		

## 〔 5 〕平成 24 年度理事・評議員・監事研修等実施状況

開催年月日	研修名	主催者	開催地	参加人数
平成 25 年 02 月 20 日	社会福祉施設監事監査研修会	愛媛県社会福祉施設 経営者協議会ほか	愛媛県総合社会福祉会館 (松山市)	2

## 〔 6 〕職員の状況

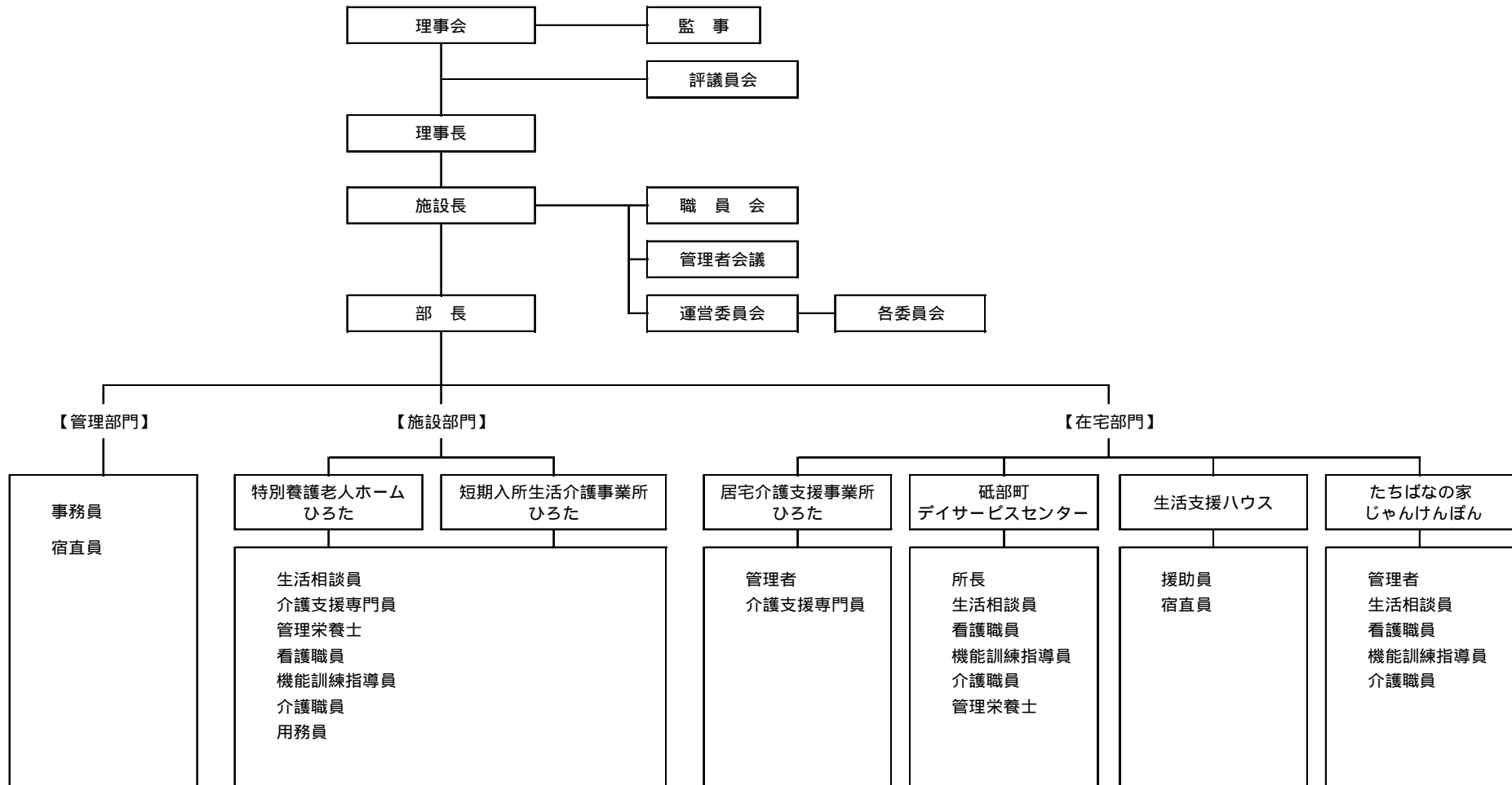
種 別		人 数		
		施設部門	福祉センター部門	立花部門
1	施設長	1		
2	部長	-		
3	デイサービス所長	-	《 1 》	-
4	通所事業所管理者	-	-	( 1 )
5	居宅介護支援事業所管理者	1	-	-
6	医 師	3	-	-
7	作業療法士	1	《 1 》	《 1 》
8	歯科衛生士	1	-	-
9	生活相談員	1	1	2
10	看護職員	3	1	1
11	介護職員	20	3 ( 1 )	3 ( 1 )
12	援助員	-	2	-
13	介護支援専門員	( 3 )	-	-
14	機能訓練指導員	1	( 1 )	( 1 )
15	管理栄養士	1	《 1 》	-
16	調理員 ( 委託 )	-	-	
17	事務員	1	1	-
18	宿直員	3	1 《 2 》	-
19	用務員	3	-	-

平成 25 年 3 月 31 日現在における会計区分別の職員配置状況。

( ) 書きは同部門内、《 》書きは部門間での兼務。



〔 7 〕 運営組織図



## 2 . 施 設 部 門

### 【平成 24 年度目標の評価】

#### (1) 基礎介護力の充実と記録システム化によるケアの向上

23 年度に比べると、肺炎や心不全での入院が減り入院日数は大幅に減少した。今後もダブルチェックを行い、異変を早期に察知できるよう努力する。また、23 年度から取り組んできた基礎介護のテキストが完成し、25 年 1 月からサブリーダーへの研修を開始した。重度化する現場に対応できるよう引き続き研修を行っていく。

#### (2) 便秘改善対策を三大ケア（食事・入浴・排泄）の視点から取り組む

23 年度から取り組んでいた玄米食とオリゴ糖の使用に加え、水分摂取量を意識して増やしたことにより、下剤服用者はゼロとなり、緩下剤服用者も半分程度に減少している。足浴の効果は定かではないが、炭酸ナトリウムを入れるなど新たな工夫もしており、継続して行っていく。

#### (3) 暮らしやすい生活、環境整備

住環境委員会を中心に、施設内の環境について意識付けができるようになった。個々の居室やトイレの環境を重点的に見直してきたため、25 年度ではリビングなどの共有部分の環境についても取り組んでいく。

#### (4) 食を通した楽しみや豊かな生活作り

ユニットでの食事作りや誕生日のおやつ作りでは、リハビリも兼ね、作る楽しみを味わっていただくことができた。また、季節に合わせた行事食や祝い膳では、生活の中の楽しみの一つとして食事提供ができた。25 年度も引き続き利用者に楽しんでいただけるような食事提供を行っていきたい。

### 〔 1 〕 施設部門の状況

#### ( 1 ) 施設の種類の

特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）	定員 30 名
老人短期入所事業（指定短期入所生活介護事業）	定員 4 名

#### ( 2 ) 運営状況（利用状況）

指定介護老人福祉施設

平成 25 年 3 月 31 日現在

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均/合計
介護度平均	4.23	4.2	4.2	4.37	4.3	4.27	4.27	4.27	4.2	4.24	4.23	4.23	4.25
稼働率(%)	100	99.2	99.5	97.6	99.5	100	99.2	98.3	96.2	95.4	97.7	99.9	98.5

平成 23 年度稼働率 97.4%

### 短期入所生活介護事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
利用件数	11	10	14	15	14	14	19	18	19	16	16	16	15.2
稼働率(%)	95.0	99.2	120.8	125.8	112.9	119.2	122.6	135.0	152.4	112.1	133.9	129.0	121.5

平成 23 年度稼働率 120.2%

平成 24 年度全体（特養 + 短期）稼働率 101.1%

平成 23 年度全体（特養 + 短期）稼働率 99.9%

### （ 3 ）入居者の状況

#### 出身地別入所・退所状況

市町村\区分	保険者別入所者数			平成 24 年度中の異動状況						
				入 所			退 所			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
松山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	6	15	21	1	4	5	2	1	3	
内子町	1	4	5	0	1	1	0	2	2	
伊予市	1	2	3	0	0	0	0	1	1	
西予市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
合 計	8	22	30	1	5	6	2	4	6	

#### 【年齢構成】

項 目	男	女	計
65 歳 ~ 69 歳	0	1	1
70 歳 ~ 74 歳	0	0	0
75 歳 ~ 79 歳	1	1	2
80 歳 ~ 84 歳	3	4	7
85 歳 ~ 89 歳	3	4	7
90 歳 ~ 94 歳	1	5	6
95 歳 以 上	0	7	7

項目	男	女	全体
平均年齢	85	89	87.9
最高齢	91	101	
最年少	79	69	

#### 【要介護度別人数表】

要介護度	1	2	3	4	5	計
男	0	0	3	2	3	8
女	0	0	3	9	10	22
計	0	0	6	11	13	30

平均介護度 4.23

【通院状況】

単位：人

科 別	内科	皮膚科	眼科	耳鼻科	整形外科	脳外科	泌尿器科	歯科	外科
実人数	82	4	0	0	13	5	0	1	0
延べ人数	126	6	0	0	16	5	0	3	0

【入院経過状況】

	入院日数	入 院 期 間	入 院 原 因
事例.1	7日	H24年5月19日 ~ 5月27日	総胆管結石
事例.2	4日	6月8日 ~ 6月13日	虚血性大腸炎
事例.3	21日	7月2日 ~ 7月24日	左大腿骨頸部骨折
事例.4	18日	10月25日 ~ 11月13日	急性膵炎
事例.5	12日	11月28日 ~ 12月10日	肺炎（退所）
事例.6	13日	11月29日 ~ 12月12日	脳梗塞疑い
事例.7	4日	12月20日 ~ 12月25日	腸閉塞
事例.8	49日	12月27日 ~ H25年2月15日	出血性胃潰瘍
事例.9	8日	H25年1月20日 ~ 1月28日	総胆管狭窄症（死亡退所）
事例.10	1日	3月12日 ~ 3月14日	肺炎
計	136日		

23年度入院者数 18名 延べ入院日数 261日

〔2〕事業内容

(1) ユニットの状況

一丁目ユニット・・・男性：4名 女性：6名 平均年齢85.6歳 平均介護度4.3

職 員 数：4名

事故の原因分析や再発防止策についてしっかりと検討を行い、ケアの統一化を図るよう努力した。また、水について理解を深め、個々の水分量の目標を決め楽しく摂取できるようにメニューも豊富にした。利用者が快適な生活を過ごすことができるように支援を行った。

25年度は、「利用者の夢かなえようプラン」の実践を行う。

ユニット内行事

月	日	行事名	場 所
5	7	好きなもの作ろうお好み焼き	一丁目

6	9	玉谷ほたるまつりN氏 玉谷に帰ろう！	玉谷集会所	
7	11 30	思い出に残る誕生日に・・・I氏 F氏 外食	ピロティ 北斗七星	
9	25	中華パーティー	一丁目	
10	26	豪華な誕生日会	一丁目	
11	26 26	F氏 外食 鍋パーティー	大洲市 一丁目	
12	4 11	S氏 外出 T氏叙勲伝達	内子町 一丁目	
2	25	おでんうどん	一丁目	
3	13 14	ティーパーティー 夫婦・S氏外出	一丁目 こぶしの家	


二丁目ユニット・・・男性：1名 女性：9名 平均年齢91.3歳 平均介護度4.3


職員数：5名

個別外出に取り組み気分転換を図ることを行った。居心地のよいリビング作りについては改善が不十分だった。

25年度は、一人ひとりの笑顔、充実生活を大切に個性にあったユニット作りを行う。

#### ユニット内行事

月	日	行事名	場所	
5	21	新しい仲間を迎えての焼肉パーティー	二丁目	
6	21 26	食事に行こう（T氏外出） お寿司を作る	うどん茶屋北斗 二丁目	
7	10 30	「からり」へお出かけ（F氏） 外食へ行こう（T氏、I氏）	からり 北斗七星	

11	22	奥道後大菊花展ツアー (ランチバイキング付き)	ホテル奥道後	
1	7	うどんが食べたい(T氏外出)	丸亀製麺	
2	27	お寿司をつけよう	二丁目	
3	11	食事&ショッピング(T氏、I氏)	オズメッセ	

三丁目ユニット・・・ 男性：3名 女性：7名 平均年齢 86.5歳 平均介護度 4.1


職員数：5名

ターミナル利用者の一泊旅行やケアについて検討を重ねた。外出については話し合い計画・実施したが、想いを十分に叶えられないこともあった。言葉として表れているものと潜在している想いの違いを充分汲み取ることができなかった。利用者にとって一日一日が楽しく、充実した生活が送れるようにするためにはどうしていけばいいかを検討した一年であった。

25年度は、利用者が健やかに、そして穏やかに過ごせるような環境作りをすると共に、より多くの笑顔を見るために謙虚な姿勢で心身のケアをしていく。


#### ユニット内行事

月	日	行事名	場 所	
4	15	お花見一泊旅行 T氏、S氏	奥道後	
5	10	富士山外出 T氏	大洲	
	15	カレー作り	三丁目	
	30	お寿司で元気!!	三丁目	
7	10	からりへお出かけ N氏	からり	
8	1	もりもり食べて夏を乗り切ろう!	三丁目	
9	3	大衆観劇を楽しもう! T氏 K氏 N氏	松山劇場	
	23	新田八幡神社にお参り! N氏	中田渡	
	26	秋です! いも炊きの季節到来!!	三丁目	
10	19	わが家に帰ろう! T氏	高市	
11	20	たらいうどんを食べよう	三丁目	

12	4	お墓参り、外食 S氏、K氏	道の駅他 三丁目 三丁目	
	11	さつま汁を作ろう		
	17	忘年会		

## (2) 行事報告


(全体行事等)

月	日	行事名	場 所	
4	12	お花見	広田中学校グラウンド	
	18	移動動物園	施設内	
	22	開園 11 周年記念感謝祭	施設内	
5	17	手打ちうどん作り	施設内	
	18	茶もみ	施設内	
6	5	居酒屋で楽しもう	施設内	
	29	丹施設長卒業式	ピロティ	
8	6	七夕祭り	ひろた交流センター	
	8	幸せのつどい	国際ホテル松山	
	14	盆踊り	ひろた交流センター	
	24	たらいそうめん	ピロティ	
	30	かき氷屋さん開店	ピロティ	
9	26	避難訓練	施設内	
	30	物故者を偲ぶ会	デイホール	
10	11	秋の味覚 焼き芋を食べよう	ピロティ	
	14	秋刀魚炭火焼	ピロティ	
11	4	広田ふるさとフェスタ	交流センター	
	11	家族会芋炊き	施設内	
	16	ひろたカフェ	研修室	
12	13	広田小学校マラソン大会応援	施設内	
	25	居酒屋		
	28	餅つき		
2	3	節分豆まき	施設内	
3	28	懐石料理	研修室	

## (地域交流)



月日	活 動 内 容	団体および個人名	写 真	
4	5	おはなし会	砥部町立図書館	
5	11 28	駄菓子屋さん 散髪	橋本商店 髪切りクラブ	
6	3 7 12	広田小学校区防災訓練 おはなし会 独居友の会総会	砥部町立図書館 独居友の会ひろた	
7	13 26 30	駄菓子屋さん カレーを食べる会 散髪	橋本商店 独居友の会ひろた 髪切りクラブ	
8	1 2 8	鴨滝健康教室 おはなし会 カレーを食べる会	砥部町介護福祉課 砥部町立図書館 独居友の会ひろた	
9	14 19 23 24	駄菓子屋さん 広田小学校1.2年生来所 広田小学校運動会 絵本読み聞かせ	橋本商店 広田小学校 久万おはなし会	
10	1 4 11 22 23 28	散髪 おはなし会 広田小学校公開授業 保育園おみこし来所 地方祭 ふるさと交流会	髪切りクラブ 砥部町立図書館 広田小学校 広田保育所 玉谷小学校	
11	9 14 27	駄菓子屋さん 鴨滝健康教室 多居谷健康教室	橋本商店 砥部町介護福祉課 砥部町介護福祉課	
12	3 6 6 26	散髪 独居友の会年末慰問 おはなし会 総津老人クラブ年末慰問	髪切りクラブ 独居友の会ひろた 砥部町立図書館 総津老人クラブ	
1	18	駄菓子屋さん	橋本商店	
2	4 7 14 25	散髪 おはなし会 砥部町老人クラブ来所 玉谷小学校ふれあい交流	髪切りクラブ 砥部町立図書館 砥部町老人クラブ 玉谷小学校	



3	6	仙波健康教室	砥部町介護福祉課 砥部町介護福祉課 橋本商店	
	14	満穂健康教室		
	15	駄菓子屋さん		

### (3) 逆デイサービス：高岡さんち

総津地区の借家を利用した念願の逆デイサービスを開始。普段は歩行を嫌がられる利用者が自ら歩かれ、施設では落ち着かない利用者が穏やかに過ごされるなど、施設では得られない発見がある。利用者の笑顔を引き出せるよう、25年度は定期開催を目指していきたい。

月日		参加人数	内容	
10	29	利用者：4名 職員：2名	カレーライス マカロニサラダ フルーツポンチ	
12	20	利用者：3名、職員：4名	寄せ鍋・黒ゴマプリン	
1	4	利用者：8名、職員：4名	ラーメン・おにぎり	
2	22	利用者：8名 職員：6名、実習生：1名	卵かけご飯・おでん 白和え・ふかし芋	
3	15	利用者：4名、家族：2名 職員：3名、実習生：1名	カレーライス・ティラミス かぼちゃサラダ	

### [3] 委員会

#### (1) 事故防止委員会

施設部門

毎月各ユニット会議で1ヵ月のヒヤリハット報告書及び事故報告書の検討・再発防止について話し合う。

(参加者) ユニット職員、介護主任、管理栄養士・生活相談員、看護主任、機能訓練指導員

平成24年度分析結果

件数

事故報告書

該当	}	危険度2	…処置や治療は行わなかったが、バイタルサイン・観察は継続的に必要	65件
		危険度3	…簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の服用)	15件
		危険度4	…濃厚な処置や治療を要した(骨折・縫合・入院等)	4件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
一丁目	0	1	1	4	1	2	4	0	1	2	4	3	23
二丁目	0	4	5	5	1	0	4	2	1	2	2	2	28
三丁目	2	1	3	0	1	0	3	3	0	5	0	0	18
ショート	1	0	3	1	1	1	2	4	0	1	0	1	15
合計	3	6	12	10	4	3	12	9	2	10	6	6	84

### ！！報告書

該当	危険度 0 ……事故を未然に防ぐことができた	13 件
	危険度 1 ……事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった	129 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
一丁目	3	1	1	2	3	2	1	4	3	0	2	1	23
二丁目	0	3	3	4	8	5	8	5	8	0	3	2	49
三丁目	1	1	3	3	2	4	5	2	1	3	1	0	26
ショート	1	8	7	7	1	7	8	1	1	2	1	0	44
合計	5	13	14	16	14	18	23	12	13	5	7	3	142

### 医療機関へ受診したもの…4 件

事例 1	転倒し腰の痛みあり受診、胸椎圧迫骨折との診断。
事例 2	離床時に左大腿部の痛み有り受診、頸部骨折と判明。入院、手術。
事例 3	リフト移乗後、座位修正を行った際に、左足小指付け根が切れる。受診し、2針縫合。
事例 4	ショート利用者。転倒し痛みあり受診、左大腿骨頸部骨折、家族希望で保存的治療。

### 発生場所

居室	リビング	廊下	トイレ	医療	その他
53.5%	15.0%	10.2%	5.3%	3.5%	12.5%

### 内容

転倒 28.8%			転落 20.8%		内出血	皮膚剥離	その他
歩行中	車椅子移乗中	その他	車椅子(椅子)から	ベッドから			
14.2%	8.8%	5.8%	12.4%	8.4%	11.1%	4.0%	35.3%

### 件数の推移

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
202 件	248 件	291 件	242 件	226 件

## 分析

24年度226件と、23年度に比べ16件減少したが、目標の10%減には至らなかった。時間帯としては、起床時や就寝時、食後の排泄時と利用者が行動する時間に多く、半数以上は居室で起こっており、職員の目が届きにくい場所での事故を防ぐことの難しさを感じる。利用者別では精神疾患を抱えたショート利用者が39件と最も多い。月に2週間ほどの利用だが、多い時は月に10件、少ない時は0件と、精神状態に大きく左右されていることが顕著に出ている。次いで脳梗塞の再発により立位歩行機能の低下した方の転倒・転落が28件となっている。この方に関しては、23年度より様々な対策を行っているが、自分で動けるとの思いが強く職員不在時を見計らって動いて転倒されるケースが圧倒的に多い。職員にとっては「見守り」のつもりでも、利用者にとっては『監視』となってしまい、対応の難しさを感じている。一方で毎月転倒されていた方が、レベルの低下によって事故が減るというケースもある。医療事故(10件)に関しては、連携や伝達のミスから起こっているものが多い。医療安全管理委員会でも検討し、再発防止に努める。

## (2) 身体拘束廃止委員会

毎月1回委員会にて現在4本柵使用している1名について、今現在の状況を話し、代替策はないか検討する。

(参加者) 対象者のユニット職員、機能訓練指導員、生活相談員(ケアマネジャー)、介護主任  
看護主任、管理栄養士

開催日	対象者	協議項目
H24.04.19	1名	0氏：睡眠状態
05.15	1名	0氏：睡眠状態、排便状況、水分量確保への対応
06.25	1名	0氏：浅眠傾向、寝具・室温の調節(同室者への配慮)
07.25	1名	0氏：睡眠状態、排便状況(腹部マッサージの徹底)
08.17	1名	0氏：浅眠傾向
09.21	1名	0氏：睡眠状態、体調不良時の室温の調節
10.19	1名	0氏：睡眠状態
11.20	1名	0氏：睡眠状態、生活リズムの見直し
12.17	1名	0氏：睡眠状態
H25.01.31	1名	0氏：睡眠状態、離床中の車椅子使用時の状況
02.22	1名	0氏：睡眠状態、車椅子修理中につき代替車の状況
03.07	1名	0氏：睡眠状態、職員異動による関わり方の再検討

## 《振り返りと目標》

0氏は入所時から4本柵で対応を行なっている。解除に向けて様々な取り組みを行なったが適当なものが見つからず、ご本人の生活環境やご家族の想いを考えるとやむを得ない策と思われる。今後も環境面だけにとらわれず、0氏が心身ともに穏やかに過ごせるよう関わり方も含めて検討していきたい。

### (3) 食事・口腔ケア委員会

咀嚼・嚥下障害のある方の食事介助時の注意点・ポイントを記した食事カードの作成、口腔ケア・リハビリについての検討を行う。

(参加者) 各ユニットで決められた委員、管理栄養士

(主な協議事項) 各ユニット状況報告

開催日	協議項目
H24.04.30	牛乳提供者の見直し
05.16	各ユニットの平成24年度の目標を検討 口腔機能維持加算の評価方法について
06.20	食事カードの作成 口腔機能維持加算について
07.25	施設内研修の内容検討 口腔機能維持加算について
08.22	食事の保管方法の説明 口腔機能維持加算について
09.19	口腔ケアセットの保管方法・清掃について検討 口腔機能維持加算について
10.25	口腔機能維持加算について
11.21	現在使用している義歯の見直し 口腔機能維持加算について
12.19	今年度の目標の経過報告 口腔機能維持加算について
H25.01.30	各ユニット口腔リハビリ対象者を選出 口腔機能維持加算について
02.20	各ユニット口腔リハビリの経過報告 口腔機能維持加算について
03.25	とろみの使用量の検討 口腔機能加算について 口腔リハビリについて

#### 《振り返りと目標》

24年度は各ユニットで食事摂取が困難な利用者の食事カードを作成し、全職員が統一したケアが実施できるよう取り組んだ結果、食事時の嘔せ・窒息が減少し安全に食事ができるようになった。また、各ユニットにて口腔リハビリの必要性が高い利用者を選び重点的に実施することで、徐々にではあるが機能の向上がみられた。

便秘対策は、玄米食やオリゴ糖の継続使用と、水分摂取量を増やすことにより、便秘を緩和することができた。歯科衛生士の指導により、的確な口腔ケアもできるようになってきた。

25年度の目標として、各ユニットから新たに該当者を選び、その利用者を中心に口腔リハビリを実施し、安全で美味しく食べることができるよう取り組んでいきたい。

### (4) 住環境委員会

施設内の環境美化に努める。

(参加者) 各ユニットで決められた委員、施設長、生活相談員、介護主任

開催日	協議項目
H24.04.10	居室の片付け、掃除チェック表の作成
05.08	介護材料室の片付け 喫茶コーナーの場所移動
06.12	パソコン周辺、トイレまわりの清掃
07.10	中庭の清掃 喫煙場所の清掃

08.14	地震対策
09.11	居室の片付け トイレ掃除の徹底
10.09	居室のハンディモップ購入 加湿器の設置
11.13	浴室のカビ対策 介護材料室の片付け 喫茶コーナーの検討
12.11	リビングの大掃除
H25.01.08	観葉植物の配置換え マッサージチェアの活用 居室洗面台の掃除
02.11	13番地トイレの臭い対策 ファンレストテーブルの活用
03.12	リビングの環境整備 介護材料室の整理

#### 《振り返りと目標》

24年度はおもに施設内の環境美化に努めた。備品を購入するなどして、トイレや居室の環境整備に取り組み、利用者にとって快適で生活しやすい場になるよう心がけた。委員の声かけ、チェック表により、職員の環境整備に対する意識も変わってきたように思う。

25年度は、利用者の体型にあった椅子やテーブルの工夫、歩行や車いす自走など各人の機能が活かせる、より個別性に着目した環境整備を行なうとともに、リビングなどの共有スペースもより居心地の良い空間になるよう検討していく。

#### (5) 排泄委員会

より快適に過ごせるよう個人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄、個々にあったパットの使用を行う。コスト削減に努める。

(参加者) 各ユニットで決められた委員、看護主任、介護主任

(主な協議事項) 各ユニットから業務の報告と検討、利用者のトイレ誘導時間、パットの見直し

開催日	協議項目
H24.04.13	便秘対策
05.23	便秘対策 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導
06.08	便秘対策
07.13	各利用者の水分量見直し 便秘対策 新規利用者の排泄見直し検討 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導
08.20	便秘対策に 新規利用者の排泄見直し検討
09.19	便秘対策 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導
10.12	新規利用者の排泄見直し検討
11.16	便秘対策 新規利用者の排泄見直し検討
12.14	便秘対策 利用者の排泄見直しの検討(排尿チャート) 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導
H25.01.11	便秘対策 新規利用者の排泄見直し 排泄臭の対策
02.12	便秘対策 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導

03.08	便秘対策 パットのコスト削減 業者のアドバイザーから各丁の対象者について指導
-------	---

《振り返りと目標》

24年度は、アドバイザーと連携し、毎月各ユニット一人ずつ利用者を抽出し尿測・排泄アセスメントの見直しを行った。個々の排泄誘導時間を再検討することにより、パットではなくトイレで排泄できることが徐々に増えてきた。便秘対策は、オリゴ糖の使用や水分摂取量増加などで、緩下剤・下剤の服用者が減少、個々の排便リズムに沿ってトイレ誘導を行なうことで便秘改善に効果がみられている。

施設全体の目標であるコスト削減については残念ながら達成できなかったが、25年度も引き続き利用者個々に合ったトイレ誘導やパットの検討を行ない、「日中のオムツゼロ」を目標に、便の形状にも注意を払い利用者がトイレで気持ち良く排泄できるよう援助し、コストを23年度の水準に戻せるよう努めていきたい。

(6) 入浴委員会

《目標》

23年度は入浴・住環境委員会としていたため、環境面について重点的に話し合いを行った。

利用者個々にあった入浴方法、家庭的な雰囲気、身体機能の維持向上を兼ね個浴の実施を目標にしている。その為には、浴室環境の整備、時間の検討や人員配置を25年度一年かけて検討し実施していきたい。また、基本週2回の入浴となっているが、希望者には出来るだけ入浴回数も増やし、身体の清潔はもとより、心のリフレッシュもしていただきたい。

(7) 褥瘡予防委員会

褥瘡予防の研修等を行い、予防と早期発見、対応を行う。

(参加者) 看護主任、各ユニットリーダー、介護主任、生活相談員、管理栄養士、施設長

開催日	協議項目
H24.07.27	現状報告 ハイリスク者の抽出 予防の呼びかけ(保湿など)
12.28	現状報告 ハイリスク者の抽出 予防の呼びかけ マットレスレンタルの検討

《振り返りと目標》

24年度、褥瘡発生者はみられなかった。褥瘡ができた状態で入居された新規利用者も、2ヵ月で治癒した。OWT療法の実施、保湿をしっかりと行なうことで皮膚トラブルの予防に努めた。

25年度も、日々のケアに重点を置き、褥瘡の早期発見、早期対応を行っていく。

(8) 感染予防対策委員会

施設内感染対策に関する職員への研修を行う。感染発生時の対応と報告を行う。

(参加者) 看護主任、各ユニットリーダー、介護主任、管理栄養士、生活相談員、施設長

開催日	協議項目
H24.07.03	感染状況の報告 食事時間の遅れる方の食事管理の徹底 環境整備の徹底
10.31	感染状況の報告 インフルエンザ、ノロウイルス感染の予防(加湿、体調管理、食品の管理、)の徹底
H25.01.19	インフルエンザ感染者発生に伴い臨時開催 感染状況の報告 感染者の隔離、食事などの対応について検討。感染拡大防止の対策検討
01.20	インフルエンザ感染者拡大に伴い臨時開催 感染状況の報告 ショート利用者の対応 感染していない利用者の対応 予防薬の服用について
01.31	感染状況の報告(インフルエンザ感染終息について) 地方局、保健所、市町村役場などへの感染症報告状況 反省と今後の対策の検討

#### 《振り返りと目標》

24年度、職員7名、利用者16名(短期利用者2名を含む)のインフルエンザの集団感染が発生し、初期段階での感染拡大を防止できなかった。今後は施設内に感染源を持ち込まない事、感染が認められた場合は、初期段階での対応を徹底して行うことで、感染拡大を防ぐ。

#### (9) 医療安全管理委員会

医療事故防止の徹底と、安全に対する意識向上

(参加者) 看護主任、各ユニットリーダー、介護主任、管理栄養士、生活相談員、施設長

開催日	協議項目
H24.07.30	医療事故報告 対策検討
10.31	医療事故報告 対策検討 介護職員による医行為の再確認・指導
H25.01.31	医療事故報告 対策検討 インフルエンザ感染報告

#### 《振り返りと目標》

24年度は、誤薬、配薬ミスが多く、その都度対応策をとってきたが同じようなミスがみられた。今後は細かな対策を考えていく。

#### (10) 広報委員会

広報紙「広寿」の発行

第27号(平成24年10月)



ブログの開設

ホームページやブログによる情報発信

広寿会ホームページ <http://www.koujukai-hirota.com/>

ブログ 「ほのぼの ひろた日記」、「たちばな便り じゃんけんぼん」

### (11) 防災委員会

防災に関する知識を養い、その対策全般に関する検討および実行をする。

(参加者) 防火管理者、施設長、介護支援専門員(居宅)、生活相談員(施設、デイ)、介護主任  
看護主任、管理栄養士

開催日	協議項目
H25.01.25	防災委員会の組織(構成職員等) 防災マニュアルの作成
02.19	防災マニュアルの作成
03.19	DVD視聴研修、防災訓練 防災マニュアルの作成

### 避難訓練等実施状況

消防署や消防設備点検業者の協力を仰ぎ、より効果的な訓練の実施を試みた。特養では、初めて避難訓練を日没後に行い、今後の防災対策の検討において一定の効果を得ることができた。

#### 第1回訓練(実施日:平成24年9月26日)

##### (1) 特別養護老人ホームひろた

第1部 消防用設備等使用訓練 13:30~15:00 14:05~14:30の間は一時中断

上田消防建設(株)と砥部消防署広田出張所署員の指導・協力のもと、施設に整備する避難器具(斜降式救助袋)及び補助散水栓の使用訓練を実施した。また、福祉センターとの合同で、消火器を用いた初期消火訓練も実施した。

- ・参加人員 職員:17名(初期消火訓練は、職員:11名、入所者:5名)
- ・消防署立会 有り
- ・特記事項 消防用設備使用訓練については上田消防建設(株)の立会指導有り



##### 第2部 避難訓練及び119番通報訓練 19:00~19:30

日没後の地震に起因する火災発生を想定。砥部消防署広田出張所署員の立会指導のもと、初の試みとして実際に暗闇(停電状態)の中での避難誘導・119番通報訓練を実施した。

- ・参加人員 職員:4名、入所者:34名
- ・消防署立会 有り





( 2 ) 砥部町高齢者生活福祉センター 14:20~15:00

火災発生を想定し、利用者の避難誘導や119番通報、そして消火器による初期消火訓練を実施した。

- ・参加人員 職員：7名、利用者（支援ハウス入所者含む）：20名
- ・消防署立会 有り



### 第2回訓練（実施日：平成24年10月24日）

地震体験車の乗車体験をとおして地震の怖さを実感するとともに、日頃から地震に対する心構えや発生時の対応を学んだ。

- ・参加人員 職員： 11名（特養：8名、福祉センター：3名）  
利用者：18名（特養：11名、福祉センター：7名）
- ・消防署立会 有り



### 消防・防災関係書類届出状況

届出日	提出事項
H25.03.29	消防設備点検結果報告書（特別養護老人ホームひろた）
H24.06.07	消防設備点検結果報告書（砥部町高齢者生活福祉センター）

### 消防設備点検実施状況

（特別養護老人ホームひろた）

実施日	点検業者	点検内容
H24.09.26	松山市安城寺町204番町3 上田消防建設（株）松山店	機器点検
H25.03.08		総合点検

( 砥部町高齢者生活福祉センター )

実施日	点検業者	点検内容
H24.06.07	松山市三番町7丁目6-10 有限会社 ミトモ コーセツ	総合点検
H25.03.08		機器点検

消防署 ( 伊予消防等事務組合 広田出張所 ) の検査状況

実施日	検査内容	特記事項
H24.10.09	消防設備、避難経路等の点検調査	
H25.02.15		

( 1 2 ) 苦情検討委員会

入居者及びその家族からの苦情の申出に対し、迅速、公正かつ適切に解決することを目的とする。

( 平成 24 年度苦情受付件数 )

施設部門・・・0 件

苦情受付箱「ご意見箱」の設置

窓口に「ご意見箱」を設置、苦情の受付を行っている。

第三者委員会

平成 24 年 6 月 22 日 ( 11:00 ~ 11:45 ) 当施設ボランティアルームにおいて第三者委員会を開催。

自己紹介の後、理事会・家族会開催報告を行う。23 年度の苦情 3 件について報告。ショート利用者の内出血については、「第三者が見ることもできたので、残念」との意見あり。ご家族は「苦情ではない」とのことで、第三者委員会への相談ができなかったことを説明する。

( 1 3 ) ケアプラン委員会

ケアプラン等の検討を行なう

( 参加者 ) ケアマネージャー、看護主任、介護主任

開催日	協議項目
H24.05.22	支援経過の記入内容
09.26	プランの内容、記述方法
12.28	プランの実施状況
H25.02.27	プランの実施状況 ( 実施できていないものへの対策 )

《振り返りと目標》

実施状況の確認やケアマネージャー間の連携が十分にできておらず、担当介護職員が戸惑うこともあった。25 年度からはケアマネージャーを専任配置にし、プランをケアの柱として自立支援・利用者のより良い生活に向けて取り組んでいく。

#### ( 1 4 ) 利用者相談会「いどばた会議」

介護相談員の皆さんのご協力をいただき、相談会を開催している。

今後も相談員派遣事業として、「いどばた会議」を継続し、地域の風を運んでいただき、職員には話しにくい話を聞いてもらいたい。



#### ( 利用者相談会「いどばた会議」開催状況 )

開催日	相談員数	参加者	開催日	相談員数	参加者
H24.05.16	3	17	10.17	3	20
06.20	3	18	11.21	2	20
07.18	3	20	12.19	3	18
08.22	3	20	H25.02.20	2	17
09.19	3	22			

#### ( 利用者の声・介護相談員からの指摘事項及び対策 )

指摘事項	対策・理由
5/16 旅行の話をされ、過去に色々な場所に旅行した話をされ「もう行きたい所はない。でも、つまらない」と訴えがあった。	ご本人の希望にて個別の外出を行っていることをお伝えする。

#### ( 1 5 ) 家族の会

ご家族同士の親睦や施設職員との交流で相互理解を深め、施設の運営や介護サービスに対する提言・意見交換を行いサービス内容の向上を図ることを目的とする。またご家族の施設行事への積極的参加を勧める。

平成 24 年 6 月 10 日

総会・・・24 家族 24 名、面談 24 家族

平成 24 年 6 月 23 日

総会予備日・・・3 家族 3 名、面談 3 家族

平成 24 年 11 月 20 日

大掃除・・・23 家族 24 名参加

いも炊き会・・・17 家族 26 名参加



# 3 . 在 宅 部 門

## 〔 1 〕 指定居宅介護支援事業所ひろた

### 【平成 24 年度目標の評価】

#### (1) ケアマネジメントの能力の向上

研修会への積極的な参加は実施できなかったが、厚生労働省からの通知や専門誌などを活用し、関係法令や専門知識の習熟に努めた。

#### (2) 利用者・家族との信頼関係の構築

利用者、家族とは良好な関係を維持できている。

#### (3) 地域づくり、各機関との連携強化

地域包括支援広田サブセンターをはじめ、地域の関係機関との連携体制は確保できている。地域の行事等への参加が少なく、今後は各地区の健康教室への参加など積極的な取り組み行いたい。

#### (4) 利用者の確保による安定した事業運営の推進

利用者数は前年度比 105%、介護収入も増収となった。年度当初から順調に利用者増となっていたが、年度後半に利用者の施設入所や死亡による利用者減が続き、大幅な利用者増には至らなかった。

## ( 1 ) 運営状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	41	39	41	40	41	42	42	41	39	37	39	36	478(44)

平成 23 年度利用延人数 455 名 前年度比率 5%増

( ) 介護予防

## ( 2 ) 事業内容

【相談件数】 平成 24 年度相談件数 837 件 (平成 23 年度 820 件)

### 〔相談方法別〕

相談方法	件数
訪問相談	690
電話相談	104
来所相談	43
合計	837

### 〔相談者別〕 重複あり

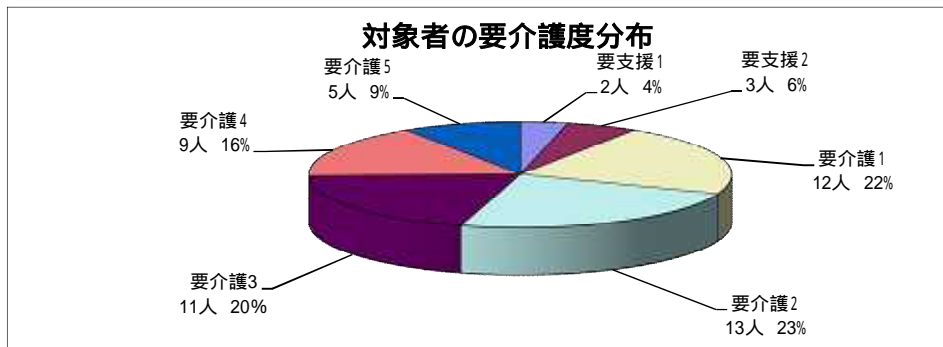
相談者	件数
本人	642
同居家族	570
事業所	116
病院	45
行政	55
合計	1,428

【地区別人口と対象者数】 平成 24 年度中の給付管理対象者 延べ 55 名

地 区	地区人口	65 歳以上の人口	高齢化率(%)	利用者数	利用者出現率(%)
総 津	327	137	42.9	12	8.8
玉 谷	167	62	37.1	6	9.7
高 市	137	84	61.3	12	14.3
満 穂	85	38	44.7	5	13.2
多居谷	62	38	61.3	6	15.8
仙 波	53	27	50.9	2	7.4
中野川	50	37	74.0	3	8.1
広田地区以外				9	
合 計	881(- 31)	423(- 11)	48.0(+ 0.5)	55(+ 1)	10.9(- 0.2)

人口は平成 25 年 3 月 31 日現在 ( ) は前年比

【対象者の要介護度分布図】 平均要介護度 2.6 (平成 23 年度 2.5)



【サービス利用数】

利用サービス	人 数	割合(%)
1 種類	21	38
2 種類	15	27
3 種類	12	22
4 種類以上	7	13
合 計	55	100

サービス利用の多い組み合わせケース

- 1 種類 通所介護
- 2 種類 通所介護 + 短期入所
- 3 種類 通所介護 + 短期入所 + 福祉用具貸与
- 4 種類 通所介護 + 訪問介護 + 福祉用具貸与 + 短期入所

【福祉用具レンタル】 利用者数 29 名

利用品目 ( ) 内は人数

電動ベッド(15) 車椅子(13) 手すり(8) 車イス用クッション(6) 歩行器(4)  
 移動用リフト(4) スロープ(4) 床ずれ予防マットレス(3) 歩行補助杖(1)

【まとめ】 給付管理実績は 23 年度比 105% の 478 件となった。利用者数は 55 名で多くは広田地区在住であるが、たちばなの家が所属する地域の地域包括支援センターや、以前から訪問し関係づくりを進めてきた病院の医療相談室から新規利用者の紹介があり、広田地区以外の利用者が少

しずつ増加してきている。

利用サービス別では、通所介護の利用者が 39 名と多く、全体の 7 割以上となっている。また、近年利用者の増加が顕著に見られている短期入所生活介護は 24 名が利用し、利用者各々の利用日数も増加傾向にある。利用者の高齢化や重介護化もあるが、主に在宅で介護にあたる介護者の高齢化が進み、在宅介護の困難性が増していることも短期入所生活介護のニーズ増加の要因の一つとなっている。

### (3) 地域連絡会

(参加者) 町保健師、国保診療所(医師、看護師)、地域包括支援センター職員、社協ヘルパー、

居宅介護支援専門員、特養生活相談員、デイサービスセンター生活相談員

(開催場所) 広田交流センター 研修室

(開催日時) 毎月 第 4 木曜日(予定) 13:30~

(協議事項) サービス担当者会議 ケース検討 各機関連絡事項 その他

### (2) たちばなの家じゃんけんぼん

#### 【平成 24 年度目標の評価】

#### (1) 安全と衛生に配慮した環境を利用者に提供する

玄関にカーペットの設置、肘掛付きの椅子を増やすことで転倒のリスクが軽減し、安全に過ごせる環境が整った。定期的な話し合いにより、ケアの統一が図られて、ヒヤリハット・事故が減少した。手洗い・うがいの励行により、感染症の発生はなかった。緊急時の対応は不十分で、今後研修等により職員間の情報共有を図ることが必要。

#### (2) 根拠に基づき、適切で丁寧なケア、支援に努める

総合記録シートの記録により、介護計画に基づいたケアの意識付けと実践ができつつある。毎日のミーティングや業務申し送りにより、ケアの統一は図られている。アセスメント、カンファレンスの実施が不十分で、利用者の理解が充分とは言えない。研修全体が計画通りに行えず、基礎介護力の向上は不十分である。

#### (3) 適正収益の確保と経費の削減を意識し、安定的な運営を目指す

登録者数は目標に達成できなかったが、一日平均利用者数は 7.3 名で目標を達成できた。新規居宅介護支援事業所の開拓は 4 事業所に留まった。毎月の利用者数や稼働率、光熱費の掲示によりコストへの意識は高まった。

### (1) 運営状況

定員 10 名 稼働率・・・73.9%(通所介護+介護予防)

通所介護

平成 25 年 3 月 31 日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	18	17	17	16	18	19	19	20	17	16	16	17	210
利用延人数	178	213	194	203	200	199	235	225	210	173	188	210	2,428

平成 23 年度延利用人数 1,687 名 前年比率 43.9%増

平均年齢(通所) 86.3 歳 平均介護度(通所) 2.2

### 介護予防通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	45
利用延人数	28	31	21	24	18	12	11	18	16	17	20	23	239

平成 23 年度延利用人数 289 名 前年比率 17.3%減

平均年齢（通所）76.7 歳 平均介護度（通所）1.5

### 【介護度別利用実人数】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用実人数	1	2	4	7	1	3	2	20

### 【介護度別利用延人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均回数
要支援 1	11	13	12	15	18	12	8	10	8	2	4	4	117	9.8
要支援 2	17	18	9	9	0	0	3	8	8	15	16	19	122	10.2
要介護 1	67	68	69	64	72	69	92	89	80	61	68	63	862	71.8
要介護 2	69	97	88	86	81	82	90	85	80	67	70	74	969	80.8
要介護 3	4	5	0	4	0	0	0	0	0	0	4	4	21	1.8
要介護 4	24	18	17	27	32	30	31	31	30	28	28	47	343	28.6
要介護 5	14	25	20	22	15	18	22	20	20	17	18	22	233	19.4
合計	206	244	215	227	218	211	246	243	226	190	208	233	2667	222.3
稼働率 (%)	68.7	78.7	71.7	73.2	70.3	70.3	79.4	81.0	75.3	67.9	74.3	75.2		73.9



### ( 2 ) 事業内容

月	日	行事名	場所
4	6・12	お花見	石手川公園
	14	パン作り	
	20	お菓子作り（パウンドケーキ）	特養ひろた
	22	ひろた感謝祭参加	
	24	クッキング（茶碗蒸し）	
	18・26・27	外食	青空食堂 久米店




5	4 8 9 10 18・23・24	柏餅作り 山菜ご飯作り 園芸（ジャガイモ） 庚申庵外出 外食	庚申庵 スシロー 天山店	
6	3・11 5・18 23 19・21・28	公園散策 お菓子作り カラオケの日 外食	石手川公園  かどや半兵衛	
7	8 18 21 20・23・26	商店街散策 パン作り 音楽ライブ鑑賞 外食	大街道  エミフル松前 ココス 朝生田店	
8	1・4 6 11 13・14 21・22	DVD鑑賞会（綾小路きみまろ） 七夕飾り 外出 喫茶店へいこう！ そうめん流し	高島屋 （南の海の水族館） ハタダ はなみずき店	
9	1 5 11 12 17 20 23・27・28	手芸（ドールクリーナー作り） 園芸（庭に花を植えよう） ミニ運動会 ピクニック 敬老を祝う会 防火・避難訓練 外食	石手川公園  ほうの花 朝生田店	
10	2・5 7 10 14 24・25 31	いもたき会 クッキング（ちらし寿司） 手仕事（らくらくハンガー作り） 下灘へ遠足（列車にゆられて...） 喫茶店へ行こう！ 愛・民家連運動会	シーサイドパーク 天秤 久米窪田店 JA 朝生田店	
11	1 3 7・9 18 16・19・22	バーベキュー 素鷲地区文化祭見学 手仕事（写真立て作り） 砥部町福祉フェスタ見学 外食	素鷲公民館  砥部町中央公民館 くら寿司 小坂店	



12	1 5 9 14 21・29 24 25	干し柿作り 年賀状作り クリスマスツリーを飾ろう こんにゃく作り 忘年会 クリスマス会 餅つき		
1	4・10 8 14 26 18・21・24	初詣 正月遊び（福笑い、すごろく） クラフト作り（ペンダントなど） りんまん作り 外食	井手神社    結の樹 重信店	
2	3 4 11 16・17・18 19・21・22	節分の豆まき とうふ作り バレンタインチョコ作り 椿神社参拝 外食・ショッピング	   椿神社 イオン	
3	3 7 12 30 21・22・26	ひな祭り会 クッキング ミニ運動会 お花見 外食	   石手川緑地公園 四川旬菜アスター	

(地域交流イベント)

開催日	内容	
H24.07.05	「生活を豊かにするお金の使い方」 金融アドバイザー 二宮典子氏 参加者 19名	

(3) 事故報告

ヒヤリハット・事故報告書

- 《危険度3》...簡単な処置や治療を要した（消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の投与等） 1件
- 《危険度2》...事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった 10件
- 《危険度1》...事故を未然に防ぐことはできた 4件

・事故の内容

転倒	6	リビングの椅子からずり落ちる	1
車両接触（軽微な物損）	4	利用者が一人で車に乗っていた	1
シートベルトで皮膚をはさむ	1	浴室でノボセによる意識低下	1
自宅段差でよろめき支える	1		

・事故の原因

職員の不注意	9	確認不足	3
見守り不十分	3		

《評価》

転倒 5 件は職員が介助中に発生しており、配慮不足を感じた。車両接触は 4 件とも注意不足が原因。いずれも怪我をした事故は無く件数も昨年から 3 件減少してはいるが、職員の慣れによる不注意や確認不足が見られた。

件数の推移	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	5 件	18 件	15 件

( 4 ) 避難訓練

【昼間の火災を想定】

実施日時 平成 24 年 9 月 20 日

参加者 利用者：6 名 職員：6 名

実施内容

初期消火、避難方法を説明 台所のコンロから出火を想定。初期消火 119 番通報の模擬訓練（ひろたへ電話） 避難開始、安全に誘導、人員点呼 反省会	消防署の立会い 無 （火災発生により急遽中止となる。） 訓練の状況 施設内で避難誘導実施 約 4 分
--	---

( 5 ) 在宅ケア委員会

(参加者) デイサービス職員、施設長、部長、居宅介護支援専門員

(主な協議事項) 各担当より連絡・報告 ケース検討 実績報告

開催日	協議項目
H24.04.19	介護報酬改正への対応 日曜日本格営業開始（当初利用者 3 名） 感謝祭参加について 視覚障害のある利用者への対応について
05.16	人事について 利用者の自立度を高める取り組みを実施
06.13	地域交流イベントの計画について 6 月末丹施設長退職
07.18	人事について 脱衣場のエアコン設置要望 環境整備の検討

08.17	自立への取り組み（利用者が使いやすい靴箱の整備）
09.20	要支援利用者自立認定で利用者数の減少 新規利用者獲得へ広報活動
10.19	列車を利用した遠足の反省会 インフルエンザの対応について
11.19	対外的交流実施（愛・民家連運動会、砥部町福祉フェスタ） 職員のストレスマネジメントについて
12.17	行事準備の確認（こんにやく作り、クリスマス会、忘年会、餅つき） ノロウイルス感染症 年末の自動車事故予防について
H25.01.21	ひろたでインフルエンザ流行、対策を検討
02.21	介護サービス情報公表調査終了 マニュアルやアセスメント カンファの重要性再認識
03.26	洗面所給湯工事 浴室の時計の設置などの整備

## （６）介護サービス情報公表調査

平成 25 年 1 月 23 日、県の指針に基づいて調査が実施された。

## 〔３〕砥部町デイサービス（委託）

### 【平成 24 年度目標の評価】

#### （１）個別ケアの強化とサービスの充実

アセスメントからニーズを把握しケアプランを立て、随時評価を行い、それに基づいたケアやサービスの提供が行えた。

#### （２）職員のスキルアップ

介護知識 54 研修は実施できなかったが、外部研修会や内部研修会には参加した。研修を振り返りながら日々のケアやミーティングに取り入れるよう努めた。

#### （３）リスクマネジメントの取組強化

ご利用時の健康状態、異常の早期発見を行い、家族やケアマネージャーなど関係機関に速やかに連絡を行い悪化防止や在宅生活の支援に繋げる事ができた。大きな事故はなかったが、慣れから事故も起こりえるので情報の共有にて安全かつ丁寧なケアに努めたい。24 年度実施できなかった利用者、家族の満足度調査は 25 年度実施予定。

## （１）運営状況

砥部町デイサービス（定員 20 名）

稼働率・・・73.1 %（介護＋介護予防）

### 【通所介護（委託）】

平成 25 年 3 月 31 日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	24	24	26	27	27	26	26	26	24	25	24	25	304
利用延人数	225	263	260	255	286	269	271	270	244	226	221	247	3,037

平成 23 年度延利用人数 2,746 名 前年度比率 10.5%増

平均年齢（通所）84.2 歳 平均介護度（通所） 2.68

【介護予防通所介護（委託）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	7	10	11	13	13	13	13	12	12	11	11	10	136
利用延人数	38	60	60	69	68	68	72	65	53	52	55	49	709

平成 23 年度延利用人数 609 名 前年度比率 16.4%増  
 平均年齢（予防）83.3 歳 平均介護度（予防） 1.5

【介護度別利用実人数】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
利用実人数	4	6	7	5	5	5	3	35

【要介護度別利用延人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均回数
要支援 1	12	16	20	25	26	23	24	27	19	17	20	13	242	20.1
要支援 2	26	44	40	44	42	45	48	38	34	35	35	36	467	38.9
要介護 1	64	77	74	73	84	82	82	81	78	62	67	66	890	74.1
要介護 2	29	24	35	18	14	32	38	48	43	29	22	45	377	31.4
要介護 3	105	115	110	100	118	89	66	60	49	37	35	44	928	77.3
要介護 4	4	11	8	31	37	36	50	49	44	63	68	62	463	38.5
要介護 5	23	36	33	33	33	30	35	32	30	35	29	30	379	31.5
合計	263	323	320	324	354	337	343	335	297	278	276	296	3746	312.1
稼働率(%)	62.6	70.2	76.1	73.6	76.9	84.2	74.5	76.1	74.2	69.5	69.0	70.4	73.1	

( 2 ) 事業内容

( 通所介護 )

月日	行事名	場 所
4	10 お花見	グランド 銚子ダム 大洲 徳田いちご園 デイホール 中庭
	19 お花見	
	24 いちご狩り	
	26 おやつ（いちご大福）作り	
	27 山菜ご飯作り	
5	17 手打ちうどん作り・梅シロップ作り	デイホール
	21 お茶もみ	中庭
	24 炊き込みご飯作り	
6	14 伊予さつま作り	
	25 おやつ（お好み焼き）作り	




7	16 23 27	たこ飯作り お誕生会おやつ おやつ（白玉団子）作り	中庭	
8	3 14・15 21 22	七夕飾りつけ 夏祭り ぶどう狩り そうめん流し	デイホール 内子町 富岡巨峰園 デイホール	
9	5 13 21 25・28 26	炊き込み作り おやつ（ピザ）作り 特養&デイ風船バレー交流会 外食・買い物 避難訓練・消火訓練	中庭   内子町	
10	1 4 8 11 18 25	栗ご飯作り 秋刀魚の炭火焼き 外食 紅白対抗運動会 和光苑交流会 おやつ（たこ焼き）作り	特養ピロティ 内子町 デイホール 和光苑	
11	7 8 12・22 26・29	切干大根作り 芋炊き お誕生会（ケーキ作り） 外食	デイホール   大洲方面	
12	3 4 5 14 17 21 25 28	ゆねり作り 干し柿作り おやつ（スイートポテト）作り 特養&デイ風船バレー こんにゃく作り おやつ（ケーキ） クリスマス会 餅つき	デイホール      特養	
1	10 11	書初め 鏡開き（ぜんざい）		
2	1 6 14 21	節分豆まき おやつ（タコ焼き）作り 特養&デイ風船バレー お雛様飾り	デイホール	

3	2	ひな祭り	デイホール		
	4	豆いり作り			
	12・24	お誕生会（ホットケーキ作り）			
	22	特養&デイ風船バレー交流会			
	23	おやつ（桜餅）作り			センター前
	27	避難訓練・消火訓練			特養
	28	お食事会（懐石料理）			

（地域交流）

月日	活 動 内 容	団体および個人名	写 真	
4	5	踊りボランティア	舞の会	
	18	移動動物園	砥部動物園	
	22	感謝祭		
5	10	絵本の読み聞かせ	砥部町立図書館 広田保育所	
	14	三味線ボランティア	岩井 登喜子&愉快的仲間達	
6	13	和光苑交流会	和光苑	
	15	カラオケボランティア	椿趣味の会	
7	5	絵本の読み聞かせ	砥部町立図書館 広田保育所	
	12	風船バレー交流会	和合苑	
	19	歌ボランティア	松山シニアサークル	
8	23	知るぼると 愛媛	愛媛県金融広報委員 二宮 典子 氏	
9	6	絵本の読み聞かせ	砥部町立図書館 広田保育所	
	17	敬老会 手品	松尾 勉 氏	
	24	お話会	久万お話会 ドロップス	
10	2	人権の花贈呈式	玉谷小学校	
	18	和光苑交流会	和光苑	
	22	ゴスペラフラダンス	アロハ・エンジェル	
	24	地震体験者		
11	1	絵本の読み聞かせ	砥部町立図書館 広田保育所	

12	5 24	オカリナ演奏 歌・踊りボランティア	中川淳子氏(カラオケ喫茶面河) オカリナ愛好会	
1	10	絵本の読み聞かせ	砥部町立図書館	
2	25 27	玉谷小学校交流会 高市小学校交流会	玉谷小学校 高市小学校	
3	7 20	絵本の読み聞かせ 歌・踊りボランティア	砥部町立図書館・広田保育所 アーティストグループエンゼル	

### (3) 事故報告

#### ・ヒヤリハット・事故件数

《危険度3》...簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の投与等)	1件
《危険度1》...事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった	10件
《危険度0》...事故を未然に防ぐことはできた	2件

#### ・事故の内容

送迎中の脱輪	1	利用者が車イス自走中に他者のイスに接触	1
迎え忘れ	1	車イス・イスからのずれ落ち	2
移乗時等の身体バランスのくずれ	1	ホール内移動中の尻もち	3
車イスから移乗時の転倒	3	段差の躓き	1

#### ・事故の原因

職員の不注意	3	介護技術の問題	2
見守り不十分	8	確認不足	3

#### ・事故発生件数

平成22年度	平成23年度	平成24年度
10件	7件	13件

#### 《評価》

幸いにして、通院などの医療的処置が必要とされる事故はなかった。

近年事故発生が増加している原因として、歩行の不安定な利用者の増加、職員の慣れによる確認・注意不足などが考えられる。見守りと確認の徹底を行い、再発防止のために随時検討を行っている。

#### (4) 苦情受付

受付件数：1件

内容：デイサービスの帰りの送迎に時間がかかり過ぎ。16時には家に帰るようにしてほしい。

対策：家族が15時半のデイサービス終了時間を15時までと勘違いしていた。家族の希望を再度確認し、16時までにする体制を作ることを伝え理解いただく。

第三者委員会への報告：希望なし

#### (5) 在宅ケア委員会

(参加者) センター長、デイサービス職員、居宅介護支援専門員、支援ハウス援助員

(主な協議事項) 各部署・各委員会より連絡

開催日	協議項目
H24.04.16	ケース・業務検討 H24年度在宅部門事業計画・感謝祭について
05.28	ケース検討
06.22	ケース検討
07.24	ケース・業務検討 指導監査について
08.24	ケース検討 指導監査報告について
09.25	ケース検討
10.23	ケース・業務検討
11.20	ケース検討
12.19	ケース・業務検討
H25.01.17	ケース検討 H24事業計画について
02.18	ケース検討
03.28	ケース・業務検討 H24年度の事業計画評価

\* 各種委員会：事故防止・身体拘束・食事口腔・排泄・感染予防・入浴

#### (6) 砥部町介護予防事業(委託)

【自立支援(IADL訓練)事業】

目的：外出の機会を提供し、心身のリフレッシュと他地区の方とのコミュニケーションを図っていただくとともに、閉じこもりなど介護予防につなげたい。

○実施日：平成24年4月17・24日

○参加人数：4月17日 5名 ・24日 5名

○場所：徳田いちご園(大洲市)

フジ内子店

○内容：いちご狩り・買い物





- 実施日：平成24年8月21・30日
- 参加人数：8月21日 3名・30日 7名
- 場所：富岡巨峰園(内子町)  
          フジ内子店
- 内容：ぶどう狩り・買い物



いちご狩りは天候にも恵まれ、汗ばむほどの陽気の中、真っ赤な苺を手に参加者の笑顔もこぼれていた。初めての企画だったが、とても喜ばれた。

ぶどう狩りは、毎年恒例となっているため、家族や近所の方へのお土産用のぶどうをたくさん購入される方もみられた。

買い物は、『見るだけでも楽しい』と参加者同士で会話も弾んでいた。

ここ数年、参加者が毎年常連の方のみとなってきている。広く周知し多くの方に参加してもらうためにも、今後の広報活動に工夫をしたい。

#### 〔4〕支援ハウス（委託）

##### （1）運営状況

定員 10 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

##### （2）行事報告

月	日	内 容	場 所
4	10	鍋を囲む会（しし鍋）	和室
6	13	お茶会	和室
9	14	バルサン消毒	2階全体
	26	避難訓練	福祉センター
10	24	地震体験車	広田支所
12	26	忘年会（寄せ鍋）	和室



デイサービスや特養での催し物に随時参加

## 4 . 会 議 等

### 〔 1 〕 管理者会議

各部門の事業運営に関する話し合いを行う。

（参加者）施設長、部長、居宅管理者、じゃんけんぼん管理者

（開催日）1回/月

開催日	協議項目
H24.04.10	各部署実績及び活動報告 平成 23 年度総括
05.16	各部署実績及び活動報告 自己申告書書式検討 在宅委員会の進行方法
06.13	各部署実績及び活動報告 松山市公募（小規模特養、グループホーム）
07.18	各部署実績及び活動報告 以後運営会に含む

### 〔 2 〕 運営会議

各部門の業務に関する話し合いを行う。

（参加者）施設長、部長、居宅介護支援専門員、たちばなデイ管理者、デイ生活相談員、施設生活相談員、介護主任、看護主任、管理栄養士

（開催日）毎第 3 火曜日 17:00～

（主な協議内容）各部署からの報告・連絡

開催日	協議項目
H24.04.10	サブリーダー会 施設困難事例検討 ユニホーム代支給
04.24	新人職員指導
05.08	家族会の研修
05.22	決算報告 終礼 人事
06.14	新しい事業展開
06.26	人事 職場の人間関係
07.10	たちばなの家職員増員 運営会内容
08.24	放課後の児童クラブ委託 職員教育 各部署実績及び活動報告
09.18	指導監査報告 職員指導 各部署実績及び活動報告
10.16	機能訓練加算返還 ショート増床 各部署実績及び活動報告
11.20	家族会報告 各部署実績及び活動報告
12.13	総津地区自主防災協定 レスキューシート導入 各部署実績及び活動報告

H25.01.10	来年度の事業計画・研修計画 職員心得を共通認識にするための方法 各部署実績及び活動報告
02.19	防災 処遇改善加算 インフルエンザ感染 各部署実績及び活動報告
03.19	新年度人事 各部署実績及び活動報告

### 〔 3 〕 リーダー会

困難事例の検討 ケアの方向性・確認を行う。

(参加者) 各ユニットリーダー、介護主任、生活相談員、看護主任、管理栄養士、部長、施設長

(開催日) 毎月最終水曜日

(主な協議内容) 各ユニットからの報告

開催日	協議項目
H24.04.24	エルダー制導入 サブリーダー会の設置
05.22	新人職員研修方法 記録物の提出期限 ターミナルケア 事故報告書の記入方法 自己申告書
06.27	検食簿未記入の対策検討 在宅復帰される利用者の新規居宅との連携
07.27	新人職員指導方法 多職種の連携 事故検討
08.28	ショートターミナル利用者の急変時の対応 人事の報告 レクリエーションの実施方法検討
09.26	朝礼の内容検討 理事会の報告 他職種の連携
10.31	ダブルチェックの様式変更 レスキューシート導入検討 事故検討
	
11.28	機能訓練の連携 事故検討 感染対策 介護の知識 54 研修方法
12.28	業務の見直し 感染予防(職員の体調管理) 水分摂取量 Up に向けての検討
H25.01.31	業務に関する伝達方法の検討 インフルエンザ対策 来年度の施設目標検討 新年度の人事
02.27	ユニット会議の進行方法 業務の見直し
03.27	次年度の施設内研修の検討 ショート物品間違いの対応策検討 節電対策 業務の見直し

### 〔 4 〕 サブリーダー会

事例検討 ケアの方向性・確認を行う。

(参加者) 各ユニットサブリーダー、介護主任、生活相談員、看護主任、管理栄養士、部長、施設長

(主な協議内容) 各ユニットからの報告

開催日	協議項目
H24.05.19	新人職員の業務状態の報告 休憩時間の確認
06.21	新人職員の業務状態の報告・指導方法の検討
07.19	新人職員の業務状態の報告 SS 利用者の記録シートの返却・保管方法
08.17	排泄介助の際の配慮について検討 ショート予定表の様式についての提案
09.21	ショートターミナル利用者の急変時の対応について 物品チェック
10.18	レスキューシートについての説明
11.15	ケアのまんねり化予防
12.20	新規入居者の対応 なのはな研修
H25.01.28	水分補給
02.22	人事異動について説明 業務見直し
03.25	なのはな研修の感想 来年度の事業計画の説明

### 〔 5 〕 ユニット会議

ユニット会議録を基にケアの方向性の検討・確認 各委員会報告を行う。

(参加者) 各ユニット職員、機能訓練指導員、介護主任、生活相談員、看護主任、管理栄養士  
ミーティング内容・・・ケース検討 リハビリについて 褥瘡経過について 身体拘束について  
委員会報告 栄養マネジメント !!・事故報告書検討

#### 一丁目

月 日	追加内容	月 日	追加内容
H24.04.23	ポジショニングの徹底	10.25	カードタイプコールについて
05.18	水分の勤め方	11.26	ターミナル利用者(短期)の受け入れ
06.18	事故の再発防止策	12.27	なし
07.26	事故分析	H25.01.29	ファンレストテーブルの活用
08.23	座位の保持についての方法検討	02.25	ケアの振り返りと見直し
09.25	内出血の原因分析	03.11	ユニット異動後の対応について検討

#### 二丁目

月 日	追加内容	月 日	追加内容
H24.04.17	ポジショニングの徹底	10.29	歯科衛生士による口腔ケア指導
05.21	リビングの様様替え	11.22	加湿器使用徹底
06.21	オリゴ糖使用方法	12.21	ノロウイルスの対応
07.19	利用者への言葉使い	H25.01.28	インフルエンザ感染の反省
08.24	なし	02.21	アセスメントの見直し
09.20	モーニングケア見直し	03.12	ユニット異動後の対応について検討

#### 三丁目

月 日	追加内容	月 日	追加内容
H24.04.19	ターミナル利用者の対応検討	10.19	新規利用者の対応
05.15	ターミナル利用者の対応検討	11.20	なし

06.25	ターミナル利用者の対応検討	12.17	ノロウイルスの対応
07.25	食事摂取困難な利用者の対応	H25.01.31	帰宅願望等訴えの強い利用者の対応
08.23	ショート物品間違い 記録方法	02.22	帰宅願望等訴えの強い利用者の対応
09.21	食事摂取困難な利用者の対応 水分補給	03.07	ユニット異動後の対応について検討

## 〔 6 〕 職員会

施設運営に関する職員間の情報の共有並びに職員研修を行う。

(参加者) 全職員 (開催日) 毎月1週目 16:30～

(主な協議事項) 行事予定の連絡 各部署からの連絡事項

開催日	参加人数	協議項目
H24.04.02	27	新人職員紹介
05.01	23	互助会決算報告
06.05	26	倫理法人会入会報告 理事会の報告 人事異動の発表 看取りの報告
07.03	25	防災計画 人事の発表
08.01	21	セクシャルハラスメント相談窓口担当者の変更 介護労働者雇用管理責任者変更 物品管理の周知徹底 逆デイサービスの開始
09.03	22	指導監査報告
10.04	23	寄付の報告 正職試験 広報委員選定
11.01	22	安全運転の呼びかけ
12.04	28	福祉避難所指定の報告 総津地区自主防災組織との協定
H25.01.04	26	挨拶・笑顔の重要性
02.01	19	インフルエンザ感染報告・対策・予防 人事異動の発表 感謝祭実行委員会からの報告 各部署の年度評価と新年度の目標設定 安全運転の呼びかけ
03.14	23	25年度の事業計画 年度末レポート

## 〔 7 〕 給食委員会

「食＝命」をテーマに、より良い食の提供を施設職員、委託業者職員共に取り組んでいく。

(参加者) 管理栄養士、施設長、部長、デイ生活相談員、施設生活相談員、委託業者

(主な協議事項) 利用者の摂取状況や料理の味付け、献立内容等



開催日	協議項目	
	特 養	砥部町デイサービスセンター
H24.04.13	食事の味付けの指摘・行事食の感想	行事食の感想

05.17	行事食の計画・日々の献立の提案	行事食の感想
06.22	祝い膳の感想・行事食の計画	祝い膳の感想・日々の食事の対応
07.20	行事食の計画・調理方法の指摘	祝い膳の感想
08.13	祝い膳の計画・愛媛県監査の検討事項	日々の食事の感想・お礼
09.18	行事食の感想・真空パック商品の試食会	祝い膳の感想
10.19	行事食の予定・日々の食事の提案 真空パック食品の試食会	日々の食事の感想、お礼
11.16	食事の感想・祝膳の計画	祝い膳の感想、反省
12.17	祝い膳の感想・玄米食の硬さの指摘 行事食の予定・	祝い膳の感想・異物混入の指摘
H25.01.21	感染対策・祝い膳の予定	食事提供方法
02.18	祝い膳の予定・日々の食事の指摘	日々の食事の感想、指摘
03.18	祝い膳の感想・提供方法の提案 行事食の予定・感謝祭のメニュー検討	感謝祭のメニュー検討

## 行事食

### 施設部門

月日	行 事	献立内容
4	12 お花見弁当	カニ散らし寿司・鯖の磯辺揚げ・鶏の唐揚げ・筍の煮物・卵焼き ひじきの煮物・八幡巻き・菜の花の辛子和え・いちご・桜餅
	22 感謝祭	うどん・天ぷら(芋・しいたけ・筍・わらび・たらの芽) やきとり・焼きそば・散らし寿司・カツオのたたき 土佐巻き・デザート 
5	17 手打ちうどん	たらいうどん・揚げだし豆腐・サラダ・キウイフルーツ
	25 チャーハン作り	五目チャーハン・餃子・大根の炒め煮・中華スープ フルーツポンチ
6	5 居酒屋	おにぎり・焼きそば・やきとり・たこ焼き・鶏の唐揚げ だし巻き卵・スナックえんどう・フルーツ盛り合わせ・ケーキ
	29 丹施設長卒業祝い	手打ちうどん・いなり寿司・芋の天ぷら・白和え・プリン

7	20	祝い膳	巻き寿司・天ぷら(オクラ・茄子・人参・えび) 豚の角煮・赤魚の塩麹焼き・胡瓜のごま酢和え 水まんじゅう・赤だし
8	24	たらいそうめん	そうめん・おにぎり・芋の天ぷら・焼き茄子・枝豆 オレンジ・ぶどう
9	17	敬老の日祝い膳	赤飯・ゴーヤのかき揚げ・鯖の漬け焼き・八幡巻き 里芋の煮付け・ほうれん草の和え物・そば米汁・和菓子
10	4	秋刀魚の炭火焼	秋刀魚の炭火焼き・おにぎり・芋の天ぷら・枝豆 切干大根の煮付け・卵焼き・梨
11	11	家族会	いもたき・天ぷら盛り合わせ・プリンアラモード
	15	祝い膳	握り寿司・天ぷら・ささ身の野菜巻き・南瓜のそぼろ煮 ほうれん草のしらす和え・赤だし・ゆずかるかん
	22	手作りパン	手作りロールパン・クリームシチュー・南瓜サラダ コンソメスープ・手作りプリン
12	12	祝い膳	手まり寿司・天ぷら(まいたけ・南瓜・さつま芋・人参)きりたんぼ 鍋風・鮭の幽庵焼き・八幡巻き・かに玉 刺身(マグロ・鯛)・ゆず釜なます・柿ようかん
	21	おやつ作り	クリスマスケーキ 
	25	居酒屋	おでん・おにぎり・ローストチキン・たこ焼き やきとり・フライドポテト・だし巻き卵・揚げだし豆腐
	28	もちつき	雑煮・唐揚げの香味酢かけ・大根のゆかり和え・いちごのムース
1	1	お節料理	巻き寿司・赤魚のフライ・煮しめ・くわい・なます 黒豆・八幡巻き・岩石卵・栗きんとん・赤だし
2	1	節分祝い膳	巻き寿司・天ぷら盛り合わせ・刺身(鯛・はまち) 鶏の梅しそ巻き・南瓜の煮付け・鰯の梅煮・卵焼き ほうれん草の煮浸し・和菓子・赤だし・豆 

3	11	祝い膳	散らし寿司・天ぷら(さつま芋・人参・キス・たらの芽) 南瓜のそぼろ煮・菜の花の辛子和え・刺身(マグロ・鯛) 赤魚の塩麹焼き・すまし汁・シュークリーム
	28	懐石料理	烏賊のカレー風味エスカベッシュ・菜の花とびこまぶし 木の葉南瓜・カツオの刺身塩タタキ添え 桜鯛の桜風味くずあんかけ・牛フィレ肉赤ワインソース 三間米翡翠ご飯・若竹汁・いちごムース

在宅部門

月	日	行 事	献立内容
4	12	お花見弁当	カニ散らし寿司・鯖の磯辺揚げ・鶏の唐揚げ・筍の煮物 卵焼き・ひじきの煮物・八幡巻き・菜の花の辛子和え いちご・桜餅
	26	おやつ作り	いちご大福
	27	食事作り	山菜ご飯
5	7	おやつ作り	草もち
	17	手打ちうどん	たらいうどん・揚げだし豆腐・サラダ・キウイフルーツ
	24	釜でご飯	筍ご飯
6	14	手作り 食事作り	梅シロップ 伊予さつま
	22	101歳祝い膳	鮭散らし寿司・天ぷら盛り合わせ・南瓜の煮物 じゃが芋とそら豆の寒天よせ・焼き茄子・みつ豆風
	25	おやつ作り	お好み焼き
7	16	釜でご飯	たこ飯
	20	祝い膳	巻き寿司・天ぷら(オクラ・茄子・人参・えび)・豚の角煮 赤魚の塩麹焼き・胡瓜のごま酢和え・水まんじゅう・赤だし
	23	おやつ作り	誕生ケーキ
	27	おやつ作り	白玉だんご
8	15	おやつ作り	お好み焼き
	22	たらいそうめん	たらいそうめん
9	13	おやつ作り	ピザ
	17	敬老の日祝い膳	赤飯・ゴーヤのかき揚げ・鯖の漬け焼き・八幡巻き 里芋の煮付け・ほうれん草の和え物・そば米汁・和菓子
10	1	食事作り	栗ご飯
	4	秋刀魚の炭火焼	秋刀魚の炭火焼き・おにぎり・芋の天ぷら・枝豆 切干大根の煮付け・卵焼き・梨
	10	お茶会	栗ようかん・抹茶
	25	おやつ作り	たこ焼き



11	8	食事作り	芋炊き
	12	おやつ作り	誕生ケーキ
	15	祝い膳	握り寿司・天ぷら・ささ身の野菜巻き・南瓜のそぼろ煮 ほうれん草のしらす和え・赤だし・ゆずかるかん
	22	手作りパン	手作りロールパン・クリームシチュー・南瓜サラダ コンソメスープ・手作りプリン
		おやつ作り	誕生ケーキ
	30	手作り	干し柿
12	3	手作り	ゆねり
	6	食事作り	かぶの酢漬け
	7	おやつ作り	スイートポテト
	12	祝い膳	手まり寿司・天ぷら(まいたけ・南瓜・さつま芋・人参)きりたんぼ 鍋風・鮭の幽庵焼き・八幡巻き・かに玉 刺身(マグロ・鯛)・ゆず釜なます・柿ようかん
	19	忘年会	寄せ鍋・カレー鍋・おにぎり・なます・甘酒
	21	おやつ作り	クリスマスケーキ
	27	忘年会	寄せ鍋・もやし鍋・おにぎり・ぬた・フルーツポンチ
2	1	節分祝い膳	巻き寿司・天ぷら盛り合わせ・刺身(鯛・はまち) 鶏の梅しそ巻き・南瓜の煮付け・鯛の梅煮・卵焼き ほうれん草の煮浸し・和菓子・赤だし・豆
	6	おやつ作り	たこ焼き
3	4	おやつ作り	豆いり
	11	祝い膳	散らし寿司・天ぷら(さつま芋・人参・キス・たらの芽) 南瓜のそぼろ煮・菜の花の辛子和え・刺身(マグロ・鯛) 赤魚の塩麹焼き・すまし汁・シュークリーム
	12	おやつ作り	誕生ケーキ
	21	おやつ作り	誕生ケーキ

# 5 . 研 修 等

## 〔 1 〕 施設実習受入状況

期間	活動内容	団体及び個人名	参加人数
H24.07.09	施設研修	特別養護老人ホーム なの花	2
08.10～ 09.06	社会福祉施設援助技術現場実習	聖カタリナ大学	1
08.23	施設見学	特別養護老人ホーム りんどう（静岡県） ㈱富士データシステム	4
08.28	施設訪問	砥部町民生児童委員協議会	6
09.03	施設見学	伊予地区（砥部町）保護司会	13
09.12～ 09.14	インターンシップ	小田高等学校生	1
09.19～ 09.21	施設実習	特別養護老人ホーム ガリラヤ荘 （管理栄養士）	1
11.22	施設見学	特別養護老人ホーム アソカ園	4
12.19～ 12.20	施設実習	砥部町社会福祉協議会傾聴ボランティア	3
H25.01.30 02.04 02.12	施設見学	特別養護老人ホーム 古城園	19
02.14	施設訪問	砥部町老人クラブ連合会	4
02.14～ 03.13	社会福祉施設援助技術現場実習	聖カタリナ大学	2

## 〔 2 〕 事例研究発表等

開催日	研修名・発表タイトル	主催者	開催地	発表者
H24.09.06～ 09.07	第8回全国高齢者ケア研究会 先進事例フォーラム in 東京	特定非営利活動法人 全国高齢者ケア研究会	東京	西岡真由美

## 〔 3 〕 施設内研修

開催日	研修名	担当者名
H24.04.02	倫理及び法令遵守	丹紀代
05.01	介護保険制度	佐々木忍
05.30	救命救急講習会	上谷千代
06.05	食中毒	森岡真理
07.03	事故防止	西岡真由美
07.12 07.23	ターミナルケア	松下ひとみ
08.22 08.29	食事口腔ケア	食事口腔ケア委員会
09.18 09.28	移乗・移動	山口久美子・原田賢一・藤岡早苗
11.01	インフルエンザ・ノロウイルス感染症	上谷千代
10.31 11.05	認知症	アソカ園施設長 森川隆氏
11.09 11.12	排泄ケア	排泄ケア委員会
12.04	ストレスケア	NPO 法人 こころ塾塾長村松つね氏
H25.01.04	身体拘束・虐待	二宮幸栄
02.27 02.28	褥瘡	河内辰栄・田中あつみ
02.27 02.28	事故発生時の対応	廣藤智和・富岡享
03.18 03.21	ターミナルケア	宇都宮好子・門田佑介
	管理者研修（全5回）	アソカ園施設長 森川隆氏

